

★世界各地の家きん・野鳥で 高病原性鳥インフルエンザ発生。

渡り鳥のシーズンが本格化し始めました。

渡り鳥の南下が本格する本年10月以降、ハンガリー、ドイツ等の欧州およびインドでH5N8亜型の高病原性鳥インフルエンザの発生が継続的に確認されています。（裏面参照）

国内においても渡り鳥の飛来が本格化する時期を迎え本病ウィルスの国内侵入リスクは一層高まっています。

農場内へのウィルスの侵入を防ぐため、飼養衛生管理基準を守りスズメやネズミ等野生動物の侵入防止対策を徹底するようお願いします。

- ・飼養衛生管理基準を守りましょう。
- ・防鳥ネットや壁に穴がないか確認し、あれば修繕しましょう。
- ・給餌施設や給水施設に野鳥やネズミが入らないようにしましょう。
- ・鶏舎への出入り時の消毒・靴や衣服の交換をしましょう。
- ・異状のみられた鶏を見つけたらすぐ担当の獣医師か家畜保健衛生所に連絡をお願いします。



このカラス
感染していない
かなあ？

中央家畜保健衛生所（西濃総合庁舎内）

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

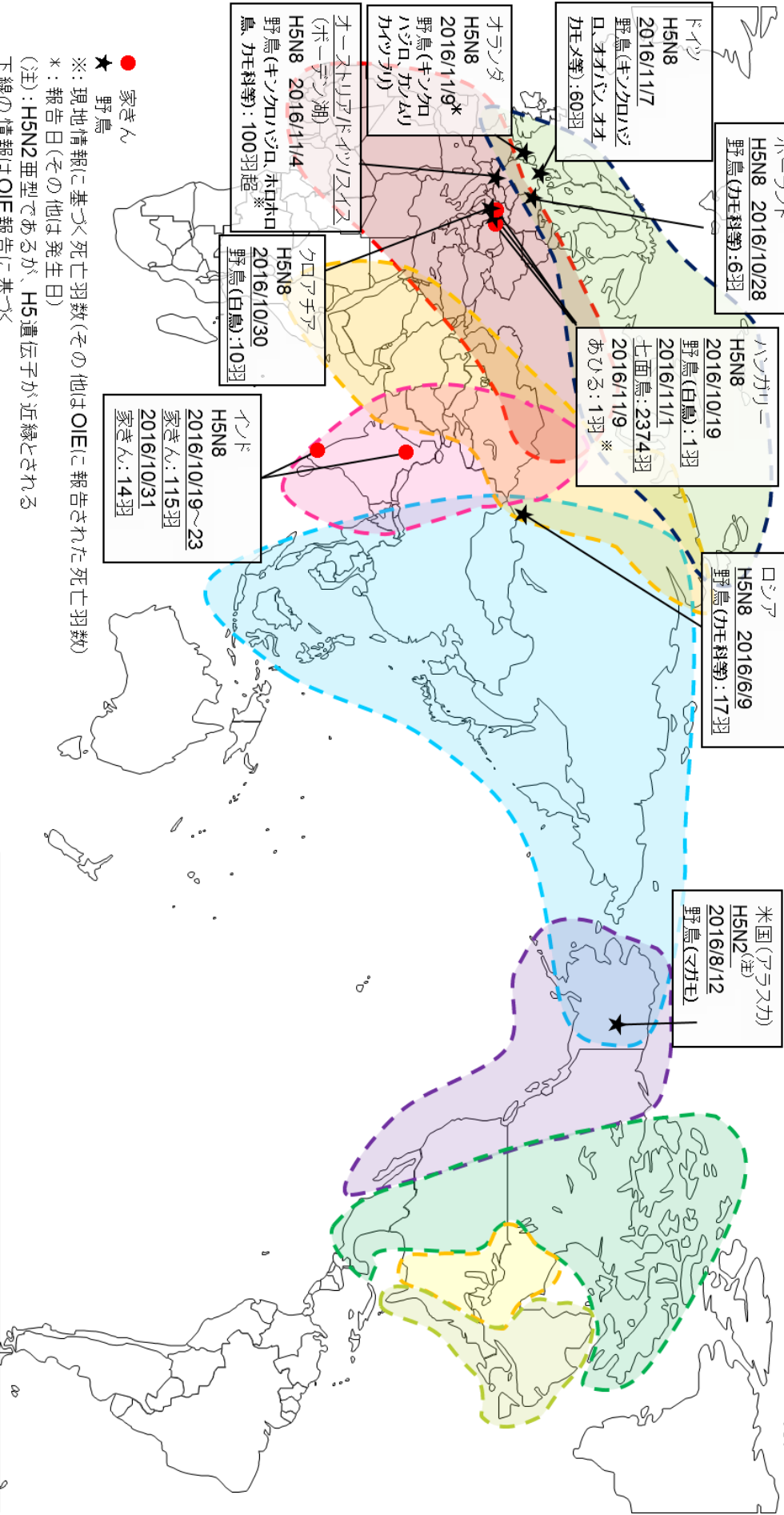
TEL: 0584-73-1111 (内線314) FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp



最近のH5N1 (H5N8) 発生状況と野鳥 (カモ類) の渡りのルート

2016/11/10現在



● 家さん

★ 野鳥

※: 現地情報に基づく死亡羽数(その他はOIEに報告された死亡羽数)

*: 報告日(その他は発生日)

(注): H5N2型型であるが、H5遺伝子が近縁とされる

下線の情報はOIE報告に基づく

本図は、野鳥のカモの個体群の渡りの範囲を大きく区分けた概念図。区域は厳密ではなく、また、区域間の行き来があることに注意が必要。

作 図: 農林水産省消費・安全局動物衛生課
 参考文献: Boere, G.C. & Stroud, D.A.(2006); Isakov, Y.A.(1967)
 監 修: 金井 裕(日本野鳥の会参与)